

全小樽十四万

市民諸君に訴ふ

小樽の港内労働者(俗に云ふ出面取)がストライキをやつた、事實昨日午後零時より陸労働者全部罷業に入りました本日本朝よりは解労働者、零時よりは倉庫労働者が罷業に入ります、是で全小樽の港内労働者が罷業に入るので、吾々は一應此の未だ日本にも稀な總罷業の發端及び経過を御訴へして市民諸君の御了解と且つ御應援を御願ひする次第です。

○爭議の發端

本月十一日山甚解従業員卅名が五月分勘定十圓増を山甚濱名甚五郎に歎願したら子方の癖に生意氣だと言の下にハネつけられ却つて冷酷にも全員解雇され未だ解決せず爭議中の事は再三市民諸君に御訴へして深甚な御同情を寄せられてる事に就いて深く謝するものであります。其の後何等誠意ある解答を得られず剩さへ余市から罷業破りを雇入れ又資本家組合たる解業組合を動かして他現場の労働者を應援する事を決議せしめ又公然労働者の階級的共同の利益保護機關たる労働組合のブツブシを宣言するに至つた。

吾々は労働者として出来る丈圓滿な解決を欲して居つた、然るに彼等は自分等の非即ち労働者虐待の非を覺らずして返つて労働者をより以上の生活苦に突き入れんとして居るのである。

吾々は今や此の問題は單なる山甚のみの問題でなく斯くの如く堪へざる生活苦を労働者に強ひるものは山甚の如き非人間的請負者輩が小樽港内産業を掌握し以て四十年来の封建的國習を盾にこれ程労働者を慘酷に取扱ひ來つたであらふ、此の度の總罷業は直接的には山甚の問題を孤立より救ひ労働者の共同の利害を守らん爲め間接的には所謂四十年来の此の封建的搾取制度を根柢より改革せんが爲めに此の處に遂に總罷業を斷行するに致つたものびあります。

○十四万市民諸君

人殺しがあつても濱の出面取、盜賊も出面取りと今迄此の屈恥を如何に闘ひ來つたであらふ、先には三斗八升事曲大眞田治助を葬つた吸血漢磯野をこらしめた、今我々に残されたる重大なる仕事は濱の現場制度を改革する事です。濱の労働者の収入を多くする事はやがて市民諸君の購買力にも必ず影響するであります。又市民諸君も如何に多くの重税を負担し借家賃を支拂ふて居る事であらふ、しかも借家の大部分は濱に關係のある財閥が多いのであります。

今や全港内の産業機關が止まる、吾が小樽合同労働組合は此の暴虐搾取に飽迄も反対し全労働者の利益の爲めに闘はんとするものであります。